

(第2号様式)

美来工科第2869号  
令和 4年3月8日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立美来工科高等学校  
校長 喜屋武 勝  
(公印省略)

### 令和3年度県立学校学校評議員について(報告)

令和4年1月19日付け教県第1741号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します

#### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和3年7月16日	場所	本校 大会議室	出席状況	3名/4名中
第2回	日時	令和3年12月14日	場所	本校 大会議室	出席状況	4名/4名中
第3回	日時	令和4年3月7日	場所	本校 大会議室	出席状況	4名/4名中

#### 2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営方針および本年度の重点努力目標に関する説明と意見聴取
- ②コロナ禍における学校の現状と感染症拡大防止対策についての説明と意見聴取
- ③教務部による各学期の活動状況報告、成績、出席状況に関する説明と意見聴取
- ④進路指導部による各学期の進路の内定および取組状況に関する説明と意見聴取
- ⑤生徒指導部による指導の現状と課題、今後の対応についての説明と意見聴取
- ⑥教育相談係・特別支援コーディネータによる学年、男女別の相談件数とその内容についての説明と意見聴取
- ⑦養護教諭による保健室の利用状況の説明と今後の課題と対応についての説明と意見聴取
- ⑧生徒の活躍についての資料提供と説明に関する意見聴取
- ⑨学年末学校評価アンケート結果の報告と意見聴取。評議員としてのアンケートへの回答依頼

#### 3 学校評議員の意見

- ①素晴らしい学校にもかかわらず定員割れが課題である。体験入学等の取組や参加状況についての確認
- ②いじめアンケートの結果とその後の対応についての確認
- ③地域の公園で清掃活動を行っている本校の生徒を見かける。感謝の言葉があった
- ④工科祭の素晴らしさについて感心するとともにレベルアップを感じた。即戦力として期待出来る内容だった。
- ⑤2学期終了時点で退学者1名、転出者6名についての対応について
- ⑥コロナ禍での分散登校もあったようだが、学習保障の観点から対応方法を確認したい
- ⑦医療的ケアを要する生徒の受入の説明があったが、施設設備や人材面での課題についての確認
- ⑧生徒指導面で多様な生徒に苦慮している現状。組織として研修を重ねて何とか対応して欲しい。

#### 4 学校運営に反映した事項

定員割れ対策について広報活動ならびに各種行事(体験入学、工科祭)をコロナ禍の中で工夫し実施している。広域通信制課程への入学や転学も急増している中、専門高校の強みを生かしたPRを粘り強く行っていく。生徒相談関係も生徒指導部や教育相談部を軸に横の連携ならびにSCのみならず就学支援員や各種支援員をフルに活用し個に応じた対応を行っており、より一層の充実を図っていきたい。進路指導については早朝講座や夏期・冬期講座も実施しており、専門高校では国公立大学合格者もトップを誇り、就職はもちろん大学進学者にも柔軟に対応できる特色ある学校づくりをこれからも目指していきたい。

#### 5 課題その他

昨年度同様、1年生の問題行動が大半を占める。精神的な幼稚さ、自覚の乏しさの上に発達障害や支援を要する生徒の割合が大幅に増え、影響を及ぼしている。SCや支援員のみならず外部機関(警察や児童相談所等)との連携を行いながら粘り強く対応している状況であり、益々、このような事案が増加すると想定され、学校としての大きな課題である。